



三木市立三木特別支援学校
学校通信 No. 5
令和2年7月1日

学校教育目標

- ・校訓 自立 元気 ともに伸びる
- ・教育目標 一人一人が「輝き」、「主体的」に活動する児童生徒の育成

通常登校が始まりました

校長 小林 義直

6月15日(月)から通常登校が始まりました。新型コロナウイルス感染症防止の為に、入学式が6月2日(火)に行われるなど、異例の令和2年度の始まりとなりました。長くなった休校期間の影響についての心配をよそに、休校解除になって登校してきた一人一人の楽しそうな顔を見て、つくづく日常の何気ない日々の大切さを実感いたしました。そして、保護者の皆様方が長い間、子どもたちとしっかりと過ごされていたことに感謝申し上げます。学校でも教職員が、子どもたちや保護者の皆様方との人間関係をしっかりと築いていけますよう努めます。学校再開後も児童生徒の健康・安全を第一に学習活動を進めていきます。

7月28日(火)・29日(水)に再度、個人懇談会を実施して個別の指導計画(前期)を開示させていただきます。保護者の皆様とお子様の指導について計画的に取り組んで参りますので、ご意見を頂戴できればと考えています。

校長室から見えるもの

6月24日(水)に中学部の社会科の授業で学校探検がありました。校長室にも各クラスの生徒達が順番に訪れてきました。少し緊張した様子でしたが、みんなソファに座ると、リラックスして柔らかいクッションの感触を楽しんでいる様子でした。きょろきょろしながら前任の校長先生の写真をみつけて喜んでいる生徒もいました。校長室の予定表や歴代の校長先生の顔写真、書籍や資料、金庫について話をしました。「大切なお客さんや先生方とも大事なお話をする場所」ですという説明もしました。生徒は、しっかりと話を聞いていました。次に子どもたちが校長室を訪ねて来てくれるきっかけになったかなとも思います。そして、子どもたちと何かいい出来事について共有したいなとも思いました。

校長室の窓から、朝の運動での学校周りのランニングやサーキットトレーニングなど、しんどいことにも先生方と一緒に力いっぱい頑張っている姿を見ることが出来ます。また、昼休みの活動で、リラックスして自転車乗りを楽しんだり、ブランコなどの遊具で楽しんだりして遊んでいる姿もよく見ることがあります。それを見て、私は、子ども達からパワーをもらって日々過ごしています。子どもたちが頑張っていて笑顔のたえない学校は、健康でいいことや幸せがやってくると思います。失敗しても気持ちを切り替えて、前向きに明るく元気にチャレンジできるように取り組んで、笑顔あふれる学校にしたいと思います。